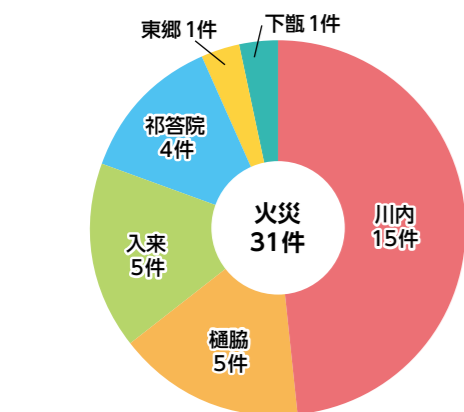
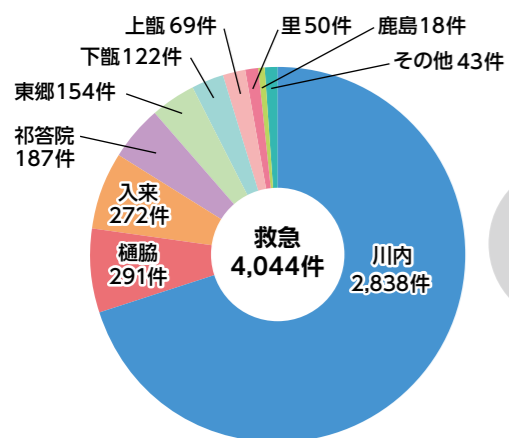


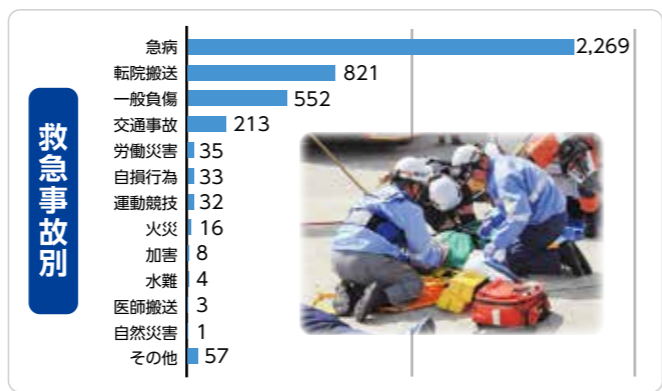
地域別 令和3年 火災・救急統計



編集/薩摩川内市消防局予防課 消防局HP ▶ Facebook ▶



前年比 70件減



火災は令和2年より9件減の31件で、過去10年間で一番少ない件数であり、おおそ12日に1件の割合で発生しました。出火率(人口1万人当たりの出火件数)は3.3%で、鹿児島県の4.0%と比較して低い水準となっています。火災種別は、建物火災14件、林野火災2件、車両火災2件、その他火災13件で、出火原因は上のグラフのとおりとなっており、「たき火」が原因の火災が多くなっています。たき火などの焼却行為は農作業に伴う軽微なものを除き、原則禁止されています。

また、焼却行為に係る消防署への届け出は、火災の煙と間違わないようにするためのもので、焼却について許可するものではありません。救急件数は令和2年より70件減の4,044件でした。おおそ1日に11件の割合で発生したことになります。なお、搬送人員は3,629人で、令和2年より71人の減となりました。大切な命を守るため、今後も救急車の適正利用をお願いします。

火災に備えて避難経路と避難方法の確認を!

火災時の煙は、視界を悪くし、さらに煙に含まれる刺激性物質により目が開けにくくなります。視界が悪い中を避難する際に、通路や階段、出入り口などに物が置かれていると避難の障害になるので、日頃から避難経路の整理整頓を心掛きましょう。

また、自宅や出掛けた先でも避難経路や避難方法を確認しましょう。ホテルや飲食店、百貨店など建物内の避難経路は、緑の誘導灯を目印にしましょう。



● 煙の速さ

煙はどのくらいの速さで広がるか皆さん知っていますか？
 ・煙が横方向に広がる速さ…秒速0.5～1m
 ・煙が上方向に広がる速さ…秒速3～5mです。
 人が歩く速さはおおそ秒速1m前後ですので、横方向だと歩く速さと同じくらいですが、上方向に広がる煙の方がはるかに速いことが分かります。階段を使って避難するための重要なポイントは、階段室に煙を入れないようにすることです。避難時は、階段室の扉を閉めるようにしましょう。



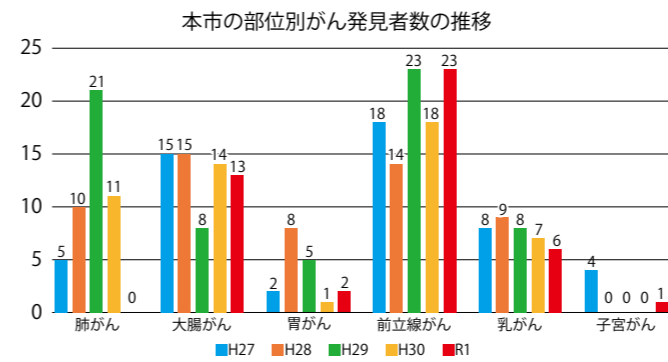
がん検診を受診しましょう

問合せ先/市民健康課(川内保健センター内) ☎(22) 8811

がんを知ろう

がんは、早期発見、早期治療すれば、約9割が治るといわれていますが、初期のがんは自覚症状がありませんが、定期的な検診で早期に発見することが重要です。

そして、がんは、日本人の死因第1位。2人に1人は何らかのがんにかかるといわれるほど身近な病気です。罹患数は、40代までは女性が多く、50代以降は男性が増えます。



がん検診を受診しよう

がん検診の対象者には、「令和4年度がん検診等申込票」を1月下旬に送付していただきますので、必要事項を明記の上、お申し込みください。

令和4年度がん検診の日程が、決定次第、市ホームページ上および「広報薩摩川内」に掲載予定です。※料金については、下段の表をご覧ください。

集団検診

主に保健センターや地区コミュニティセンターなどで実施する集団検診は、少ない個人負担で受診ができ、土・日曜日でも実施予定です。また、胃がん・大腸がん検診時には、「腹部超音波検査」、子宮がん・乳がん検診時には「喀痰細胞診検査」を合わせて受診することができます。(いずれも対象年齢と対象基準があります)

がん検診の現状

令和元年度、本市のがん検診によるがん発見者数は45人でした。

- 肺がん……………0人
- 大腸がん……………13人
- 胃がん……………2人
- 前立腺がん……………23人
- 乳がん……………6人
- 子宮がん……………1人

市の検診がお得です

(例) 40歳代の女性が全て集団検診でがん検診を受診した場合のおおその検査料

検診名	全額自己負担の場合	集団検診の個人負担額
肺がん	1,700円	400円
大腸がん	1,700円	600円
胃がん	4,900円	900円
乳がん	5,800円	1,700円
子宮がん	4,200円	1,000円
計	18,300円	4,600円

令和4年度実施予定のがん検診と個人負担額

検診名	対象者	個人負担額		検査方法	申込
		集団	病院		
肺がん	40歳以上の男性・女性	400円	1,000円	胸部エックス線検査	不要
		600円		便潜血反応検査	必要
900円	胃エックス線検査	必要			
前立腺がん	50歳以上の男性		1,000円	PSA検査(血液検査)	不要
乳がん	40歳以上の女性	40歳代	1,700円	マンモグラフィ	必要
		50歳代	1,000円		
子宮がん	20歳以上の女性	1,000円	1,500円	子宮頸部細胞診	

※次の方は、無料です。
 ●75歳以上の方 ●非課税・生活保護世帯に属する方
 ●1年生検の方(子宮がん：20歳、肺・大腸・胃・乳がん：40歳、前立腺がん：50歳)

選べるがん検診

○大腸がん検診
 大腸がん検診は、「会場まで遠くて不便」検診日に合わせて便を取るのが難しいという方には「集団検診」の他、検体を郵送する検診「郵送検診(冬季のみ実施)」を選択することができます。
 ○女性がん検診(子宮がん・乳がん検診)
 女性がん検診は、期間中であれば、市内の協力医療機関で都合のいい時に受診できる「病院検診」を選択することができます。

検査結果が「要精密」だった時には

結果が「要精密」であった場合には、精密検査を受けることで、より正確にがんでないかを確かめることができます。また「要精密」と判定されてもがんが発見されないこともあり、これを「偽陽性(本来は陰性であるのに、誤って陽性と判定されるもの)」と呼びます。必ず医療機関で精密検査を受け、正確な診断・治療を行うようにしましょう。

